

第三者評価結果

事業所名：パステルパレット

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、利用時の活動プログラムの内容の決定や選択プログラムのコース選択等、利用者の自己決定によりプログラムが計画されています。家族向けの事業所の発行誌「パレットニュース」は、パソコングループ（主にパソコンでの資料作成や掲示物、名刺作成）の利用者が主体的に作成しています。また、テーブルに飲み物のメニュー表を用意し、利用者がその日の気分で飲み物を選べる工夫もしています。</p>	
A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	c
<p><コメント> 利用者の権利擁護について、法人主導でマニュアルが作成されており、職員に周知されています。また、人権侵害についての研修会も適宜実施しています。また、月に一度の全職員参加の定例会議でも利用者の権利擁護について確認をしています。原則禁止されている身体拘束の、緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続きと実施方法等を明確に定めていないため、今後の課題として整備を進めることが望まれます。</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自立・自律に配慮した個別の支援を意識し、過剰な介助にならないよう、自律・自律に向けた声掛け、支援を実施しています。また、利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、利用者自身のやる気・主体性を大切に支援を行い、個別支援計画にも反映しています。また、月に一度の定例会議、個別支援会議では、職員同士で常に自律・自律に向けた話し合いを行っています。</p>	
<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 言葉でのやりとりが難しい利用者とのコミュニケーションの場面には、個別の文字盤を活用したり、表情や目線等から気持ちを探ったりするなど、さまざまな方法で、意思や希望をできるだけ適切に理解しようとしています。また、意思表示や伝達が困難な利用者一人ひとりの意思表示を職員がしっかりと受け止められるよう、家族や関係サービスと連携しています。</p>	

<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 利用者が職員に話したい時に話したいことを相談できるように、いつでも使用できる相談室を用意しています。相談があった際は、できるだけ当日中に対応しています。相談内容は、全職員が周知・共有できるよう申し送りノートに記入しています。相談内容から必要とあれば関係機関へのアプローチや相談員との連携を意識しています。利用者の相談事は、内容により利用者に来るだけわかりやすく情報やアドバイスを提供し、自己決定を促す場合もあります。</p>	
<p>【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 個別支援計画をもとに、利用者の希望やニーズに添って利用できるプログラムの多様化を図っています。日中の活動だけでなく、「ほっばれ祭」という地域の方々も参加するイベントを事業所で開催したり、自治体が開催しているお祭りにも参加しています。また、希望者には、近隣の商店への買い物をイベントとして実施し、利用者が好きな店舗で好きな買い物が楽しめるような工夫もしています。</p>	
<p>【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 職員は利用者の障害に関する専門知識の習得と支援の向上のため、外部研修や法人内の研修、事業所内の研修と質の向上に努めています。また、個別の対応が必要な利用者に対しては、空間・時間・プログラム内容と随時検討を重ね、支援内容の見直しを実施しています。情報量が多いと混乱してしまう利用者にはパーテーションを設置したり、個室対応にすることで安心して過ごせるように工夫をしています。また、相談支援専門員への情報共有や家族との連携により、利用者の状況に応じた支援を行っています。</p>	
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 利用者の生活基盤である家庭やホームなどの関係施設と連携して利用者支援の情報を共有し、安心・安定・安全を目指しています。場合によって、利用者の関係施設を訪問し、共通認識を深めています。入浴や食事・排泄等の方法は利用者・家族とアセスメントを行った際に確認しています。食事は利用者の身体の状況により、刻み食やペースト食など利用者・家族の意向に応じて対応しています。</p>	
<p>A-2-(3) 生活環境</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>b</p>
<p><コメント> 施設内は時間帯で清掃・消毒が徹底されており、特に消毒作業は、朝の送迎前・送迎到着後・食事前・食事後・15時のお茶前・お茶後・夕方送迎前・送迎後と徹底しており、利用者の日中活動の場は、安心・安全に配慮されています。事業所内は完全バリアフリー化しており、浴室前の脱衣所・トイレ等はプライバシーに配慮した空間設定となっています。リラクスペースではディフューザー等を使用し、利用者がリラックスできる環境です。静養スペースでは重心障害の利用者が休める空間も確保でき、安心して過ごせるようになっています。利用者からは空調についての要望もあります。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p><コメント> 柔道整復師による専門的機能訓練を実施しており、利用者の利用ニーズが高いプログラムとなっています。利用にあたっては、家族、看護師と相談し利用者の求める訓練を支援しています。利用時間は30分から60分で、利用者の要望に応じて運動中心かマッサージ中心に行うかなど訓練プログラムを決めています。個別支援計画に位置づけ、柔道整復師・看護師・支援員間で共有しており、随時見直しています。</p>	
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p><コメント> 来所時には、看護師によるバイタルサインチェックと健康状態の確認を実施しています。また、入浴時・排泄などの場面での身体チェック、また、必要に応じて看護師による医療処置を実施しています。これらの実施内容を記録システムによって管理し、常時、職員間で確認できるようになっています。利用者の健康管理等について、事業所での研修や法人での研修を実施し、質の向上に努めています。</p>	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p><コメント> 利用者のかかりつけ医師、家族から医療行為の引き継ぎを実施しています。緊急時対応書は毎年、家族に変更点を修正してもらい新しい情報を更新しています。利用者の食物アレルギーについても厨房会議で全職員が周知し、アレルギー対応の利用者の食食用プレートの色を変えたり、対応食材を明記するなど、職員と厨房職員のダブルチェックをしています。また、法人の医師がオンラインにて定期的に利用者・職員と面談・相談をしています。</p>	
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p><コメント> 近隣の工場見学や水族館、ブドウ狩りなど利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、支援を行っています。体調不良や本人の意向により、外出ができない利用者は、事業所内での焼肉パーティーなどのイベントで楽しめるように工夫しています。曜日によって参加できない利用者の不公平感が生まれないように、外出プログラムを均等にして配慮しています。</p>	
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p><コメント> 利用者の意向を尊重し、地域生活への意向や生活について、利用者や家族の意思や希望を職員が丁寧に聞き取っています。利用者の家族や相談支援員・入居施設の職員と共に地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、必要な配慮や支援を共有しています。また、活動プログラムのパソコンでの名刺やパンフレットの作成作業を通して、施設での活動から地域社会を感じれるよう工夫しています。</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b
<コメント> 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談には、常時対応できるよう場所や時間などを準備をしています。必要に応じて、助言・意見交換等の家族支援を行っています。相談事項等は、随時、関係各所と連携し支援内容を記録・共有していますが、利用者への説明には課題を認識しています。利用時の様子で、いつもと違うことや変化・気になることがあればすぐに家族や関係者に電話連絡をし、必要な対応をしています。	

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 評価外	

A-4 就労支援	
A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 評価外	
【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	
<コメント> 評価外	
【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 評価外	